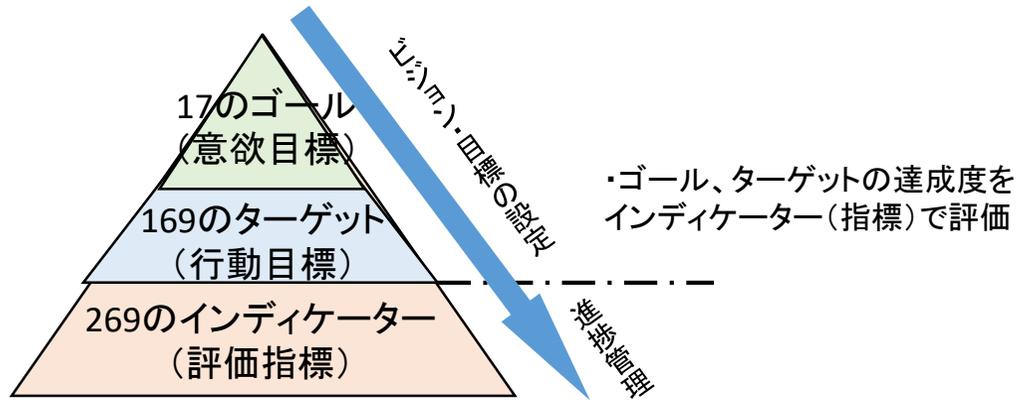




SDGs未来都市選定について

SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す。



SDGs未来都市とは

SDGsの理念に沿った優れた取組を行うポテンシャルが高い都市として内閣府から選定される都市。特に「経済」「社会」「環境」の3側面の統合的取組で優れた取組を行うことが期待される。

生駒市は2019年7月1日に選定

生駒市が選定された理由

～環境モデル都市から新たなステージへ！ 経済・社会・環境が自立的好循環するまちづくりを推進～

生駒市では、「いこま市民パワー(株)」を核とした取組を提案、市外に支払われていた電気料金を市内に留め、「地域内循環」を産み出し、市内産業の活性化につなげる取組。

生駒市SDGs未来都市計画

生駒市SDGs未来都市計画の概要（令和元年10月に策定）

～ 環境モデル都市から新たなステージへ！ 経済・社会・環境が自立的好循環するまちづくりを推進！ ～

○ 特に注力する先導的取組

（経済面の取組）

- ・いこま市民パワーにおける雇用の創出
- ・シェアリングエコノミーの推進

（社会面の取組）

- ・日常の“ごみ出し”を活用した「社会コンビニエンス事業」
- ・セカンドキャリア人材のまちづくりへの参加
- ・女性の活躍促進

（環境面の取組）

- ・住宅・事業所等への再生可能エネルギーの普及促進
- ・公共施設への再生可能エネルギーの率先的な導入
- ・資源循環・コミュニティステーションによる資源の再活用

（三側面の統合的取組）

「いこま市民パワーによる日本版シュタットベルケモデル構築事業」

- ① 電力事業を核とするエネルギーコストの地域内循環の形成・市内経済の活性化
- ② コミュニティサービスによる地域課題の解決
- ③ 卒FIT電源の積極的活用等による再生可能エネルギーの普及拡大

○ 自治体SDGsの推進に資する取組

- ① 都市構造の再設計（空き家対策）
- ② ごみ排出量の削減
- ③ 高齢者支援
- ④ 子育て支援（稼ぐ教育）
- ⑤ スローツーリズムの推進
- ⑥ 農業の振興（AI・IoT等）